



2020年10月27日

各位

会社名 ANAホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉  
(コード番号 9202 東証第1部)  
問合せ先 グループ総務部長 植野 素明  
(TEL . 03-6735-1001)

### 通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年4月28日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想および配当予想を下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	740,000	△505,000	△500,000	△510,000	△1,524.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2020年3月期)	1,974,216	60,806	59,358	27,655	82.66

#### 2. 通期連結業績予想の理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入動向等が極めて不透明な状況が続き、適正かつ合理的な算定が困難であることから業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいて業績予想を公表いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界各国の入国制限や日本国内における移動自粛等の影響を強く受け、旅客需要は大きく減退しました。下半期については、需要は徐々に回復に向かうものの、前期水準まで戻らないと見込んでおり、通期の売上高は前期から約6割減少すると見通しています。一方、運航規模の抑制による変動費の削減に加え、人件費や機材費等の固定費の削減に取り組んでまいりますが、売上高の減少の影響が大きく、各段階利益は前期から大きく下回り、上記の通り営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見通しとなりました。

3. 特別損失の計上の見込み

『ANA グループの新しいビジネス・モデルへの変革』に関するお知らせ」にて本日公表いたしましたとおり、収支改善を進めるための航空機の大量退役に伴う減損損失等（約 730 億円）に、施設・設備等の減損損失等を含め、合計 1,100 億円の特別損失を計上する見込みです。なお、特別損失の詳細は確定次第ご報告いたします。

4. 配当予想について

基準日	1株当たり配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	0.00円	0.00円
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	0.00円	0.00円

(注)当社では中間配当制度を採用しておりません。

5. 配当予想の理由

業績予想が困難であることから未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症による影響が当社グループに甚大な業績の悪化をもたらしていることから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきたく存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう、事業構造改革を着実に遂行し、収支改善を進めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上